

平成29年9月13日

医療機関の長 殿

埼玉県産婦人科医会会長	小室 順義
担当理事	平田 善康
担当理事	栃木 武一
担当理事	安藤 昭彦
担当理事	関 博之
	(公印省略)

平成29年度 埼玉県産婦人科医会主催
日本母体救命システム普及協議会 公認講習会

【母体救命ベーシックコース】の開催について (通知)

～平成29年11月12日(日)開催のご案内～

本年度3回目となる「母体救命講習会」を下記のとおり開催いたします。

今回の母体救命ベーシックコース(日本母体救命システム普及協議会認定)は、書籍「母体急変時の初期対応 第2版」に基づいた実践的なトレーニング(産後の出血性ショック、肺塞栓症、脳血管障害などの場面を設定し、各疾患での母体の救命処置の実技等)を行います。

本年8月に日本産婦人科医会 妊産婦死亡症例検討評価委員会から妊産婦死亡の防止に関する提言として、母体救命の教育プログラムに参加して、妊産婦の急変に対応できるように準備することが示されました。

つきましては、県内の分娩に携わる全ての医師、コメディカルの方に定期的に講習会を受講していただき、周産期管理における安全性をさらに向上していただきますようお願い申し上げます。

受講申込みは、下記要領にて、事務局あて mail にてお申込みください。申込みをいただいた方には、受講料の振込先等を mail にてご連絡いたします。

なお、11月1日(水)以降のキャンセルについては返金いたしませんので、ご了承ください。

また、既にインストラクターコースを受講し、インストラクター認定を希望する方は、アシスタントインストラクターとしての講習補助が1回必要です。講習補助希望があれば、【別紙2】により事務局宛に mail にてご登録下さい。県内講習での調整が出来次第、ご連絡をさせていただきます。

※第4回：平成30年1月14日(日)さいたま新都心「地域医療教育センター」で開催予定

記

1. 日 時 平成29年11月12日(日) B1 : 9:00～13:00
B2 : 13:30～17:30

2. 場 所 さいたま新都心 「地域医療教育センター」
〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2 小児医療センター8F
(裏面に続く)

3. 主 催 埼玉県産婦人科医会

4. プログラム

コース番号	コース内容	実施日時	参加費	定員 (先着順)
B 1	ベーシックコース	11月12日(日) <u>9:00~13:00</u>	助産師・看護師 ①10,000円	産婦人科医・ 助産師・看護師 計18名
			医師(会員)* ②15,000円	
			医師(非会員) ③20,000円	
B 2	ベーシックコース	11月12日(日) <u>13:30~17:30</u>	助産師・看護師 ①10,000円	産婦人科医・ 助産師・看護師 計18名
			医師(会員)* ②15,000円	
			医師(非会員) ③20,000円	

※会員：埼玉県産婦人科医会会員

5. 申 込 申込書【別紙1】にご記入の上、以下の address にお申込ください。
お申込を頂いた方には、受講料の振込先等をご連絡いたします。
先着順ですが、応募多数の場合は、1 医療機関 1 名までとさせていただきます。
※申込書は埼玉県産婦人科医会HPからダウンロードできます。
申込先：埼玉県産婦人科医会 skaneko@office.saitama.med.or.jp
(運営責任者 平田 / 事務局 金子)

6. 締 切 り 10月12日(木)

7. 準 備 受講される方は前もってテキスト「母体急変時の初期対応 第2版」(メディカ出版)、参考資料「日本の妊産婦を救うために2015」(東京医学社)をご一読ください。

8. 受講証 本コースを受講された方には受講証を発行します。(無料)
※この証明は一年で期限が切れます。

9. 認定証 認定証(カード)は、日本母体救命システム普及協議会(7団体)が母体救命研修の終了を認定するもので、今後、各学会等が認定する資格を得るための必須条件となる可能性があります。認定料や登録方法については、受講時にご案内いたします。

日本母体救命システム普及協議会(J-CIMELS)：妊産婦死亡の更なる減少を目指し、産科医療に関連する医療者に救命処置などを普及するために、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、日本麻酔科学会、日本臨床救急医学会、京都産婦人科救急診療研究会、妊産婦死亡症例検討評価委員会が共同で設立した組織です。